

網張ビジターセンター

網張ビジターセンターは、十和田八幡平国立公園内にあり、岩手山をはじめとする国立公園エリア内の山々のレクリエーションや自然、歴史などの情報を総合的に提供しています。2020年にリニューアルされ、AR（拡張現実）などのインタラクティブな技術を活用して、登山ルートを示す地形図などの情報を多言語で提示しています。

網張は、5つの山を結ぶトレイルの玄関口です。岩手山、烏帽子岳、秋田駒ヶ岳、三ツ石山、八幡平の5つの山を結ぶ登山道の玄関口です。スタッフは、トレイルの状況をアドバイスしたり、グループのニーズに応じておすすめのコースを提案したりします。また、自然の中でのアクティビティの手配や、地域の地形や野生動物についての質問にもお答えします。

夏にはホタル観賞、冬にはスノーシュートレッキング（スノーシューのレンタルあり）などのアクティビティが人気です。このセンターは、季節を問わず、あらゆるレベルの人が参加できる「自然の小径」のスタート地点となっています。所要時間は約1時間で、この地域の自然を知るための入門コースとして、また時間のない方にも最適です。

また、この施設は、観光客や住民に地域の魅力を伝えるコミュニティの拠点としても機能しており、写真の展示や自然をテーマにしたアート、充実した書籍のライブラリーなどを備えています。休憩や、グループがスキー場やハイキングに出かけている間の待ち時間にも最適な場所です。スタッフは、自然をテーマにした年間カレンダーをアレンジし、宣伝しています。その多くは、どの年齢層に適したもので、小さなお子様連れのご家族のために特別に企画されたものです。